

ねらい

小学校と幼児教育施設の職員が、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手がかりに、子どもの育ちを中心においた話し合いをすることで相互理解を深め、実践力の向上を図る。



豊かな感性と表現



社会生活との関わり



思考力の芽生え



言葉による伝え合い



自立心



道徳性・規範意識の芽生え



- ★自分で考える力、考えたことを伝えようとする力
- ★友だち同士で話し合っ解決しようとする力
- ★人の話を聴く力 等



- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた指導を工夫する
- 子どもが安心して自己発揮できるようにする

保幼小の円滑な接続、学び・育ちの連続性を担保

佐伯市としての「架け橋プログラム」の実現